

# 第3回 国際日本学学術集会

主催： 明治大学国際日本学研究所・北京大学外国語学院  
参加： 雲南大学外国語学院

日時

2022年12月3日（土）  
10時～18時30分

会場

明治大学中野キャンパス308教室  
+ Zoomによる  
オンラインハイブリッド開催

参加を希望される方は、こちらのアドレスにメールでご連絡ください。[ggis20221203@gmail.com](mailto:ggis20221203@gmail.com) (11月30日申込締切)

## プログラム

挨拶・紹介 10:00～10:20

研究発表

午前：10:20～12:40

1. 劉釗希（北京大学大学院生）

福沢諭吉による「文明」の使用とその変化についての研究  
— 「civilization」の翻訳を兼ねて

2. 白雯璟（雲南大学大学院生）

宮沢賢治の作品におけるオノマトペ  
— 『注文の多い料理店』を中心に—

3. 深田芽生（明治大学大学院生）

アニメーション作品における人物の性格と言葉遣いの結びつきに  
ついて—行為要求のモダリティに注目して—

4. 段洵美（北京大学大学院生）

ナラトロジーから見る話法の翻訳—莫言作品の日本語訳を中心に

（昼休み）

午後1：13:40～16:00

5. 張 琪（雲南大学大学院生）

適応論的視点から見た中日間商業翻訳のあり方

6. 史乃琛（明治大学大学院生）

中国の伝統の年中行事の日本の変容—上巳、端午、七夕を例に

7. 匙可佳（北京大学大学院生）

春歌表現としての「春の夜の夢」  
—新古今歌壇における一つの「新風」の確立—

8. 金井雅弥（明治大学大学院生）

坂口安吾の犯罪事件報道に対する関心

（休憩）

午後2：16:20～18:05

9. 沐晶潔（雲南大学大学院生）

文化伝播における漢文訓読の機能の考察

10. 王瑞陽（北京大学大学院生）

日本語複合名詞のアクセント変化に関する一考察

11. 黄秀智（明治大学大学院生）

—「NHKニュース」を分析対象として  
外来語の量的推移の日韓比較  
—戦後から現在に至る新聞の調査を通して—

懇談：18:05～18:30